



福島県沖を震源とする地震に係る鳥取県災害支援準備連絡会議

【日時】令和4年3月17日(木)午前9時～

【場所】災害対策本部室(県庁第2庁舎3階)

【参加者】

知事、副知事、統轄監、危機管理局、令和新時代創造本部、
総務部、県土整備部

* 副知事、統轄監は別室で参加

* 各総合事務所・市町村・消防局にはテレビ配信を実施

目的・次第

<目的>

令和4年3月16日に発生した福島県沖を震源とする地震の被害状況と本県の支援等を確認する。

<議題>

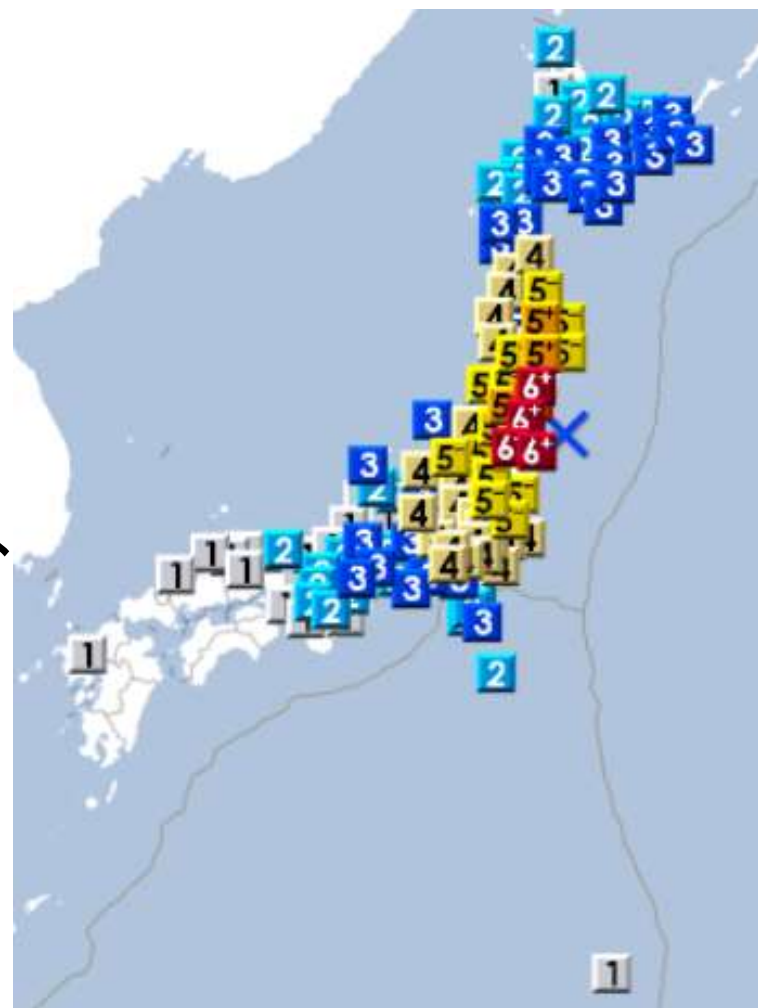
- 1 地震の概要等
- 2 被害状況
- 3 政府、全国知事会等の対応
- 4 本県の対応

1 地震の概要等(1)

地震の概要

- ・発生日時 3月16日23時36分
- ・マグニチュード 7.4(暫定値)
※17日4時30分にM7.3から更新
- ・震源 福島県沖 深さ57km(暫定値)
(北緯37度41.8分、東経141度37.3分)
- ・震度6強:宮城県登米市、蔵王町、
福島県相馬市、南相馬市、
国見町(3市2町)
- 震度6弱:宮城県石巻市、
福島県福島市ほか
- 震度5強:岩手県、宮城県、山形県、
福島県

※このほか震度1までの揺れを北海道から九州
にかけて広い範囲で観測



1 地震の概要等(2)

<長周期地震動>

階級4を宮城県北部

階級3を宮城県、福島県、山形県で観測。

※階級4は立っていることができない。

高層ビルの高層階で大きな揺れの可能性あり

津波の状況

・宮城県、福島県に津波注意報

16日23時39分に発表。

17日5時に全て解除。

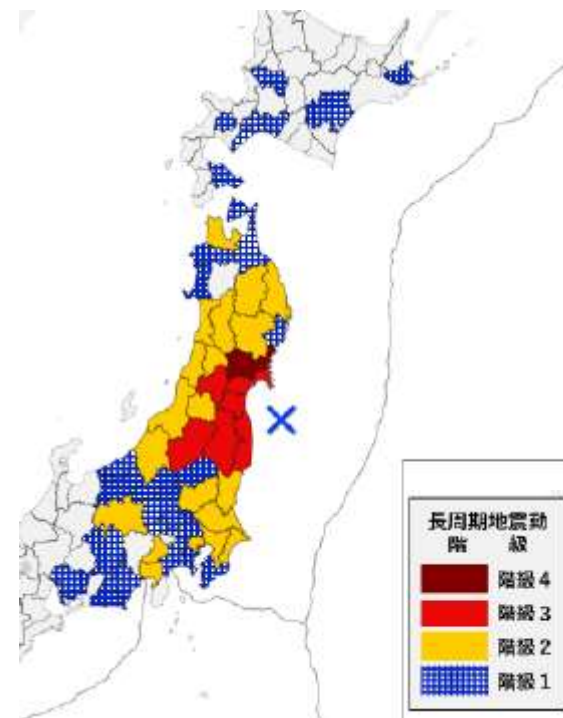
福島県いわき市小名浜 微弱(3/17 0:36)

宮城県石巻市鮎川 0.1m(3/17 1:41)

宮城県仙台港 0.2m(3/17 1:46)

宮城県石巻港 0.3m(3/17 2:14)

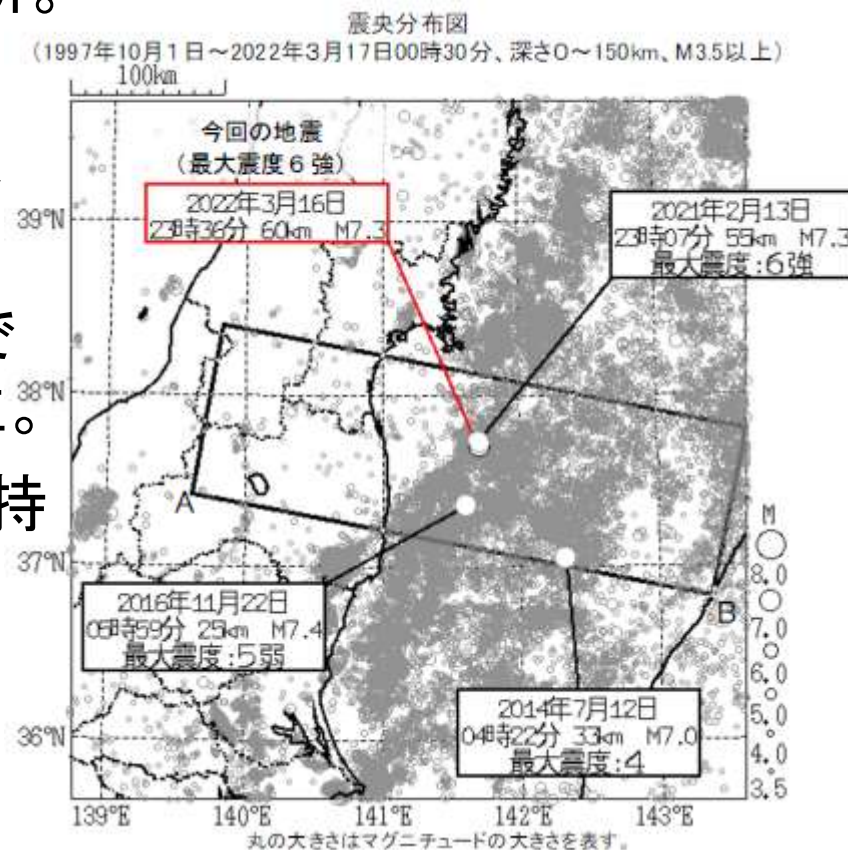
福島県相馬 0.2m(3/17 3:15)



1 地震の概要等(2)

地震の特徴 (気象庁会見より)

- 太平洋プレートの内部で、境界からは離れている。太平洋プレートが沈み込んでいて、そこに沿ったような形で地震活動が発生。プレート境界より若干深い場所。
- ほぼ同じ場所で2021年の2月13日に最大震度6強の地震。東日本大震災の余震域。
- 本地震の2分前にほぼ同じ場所でマグニチュード6.1の地震が発生。
- 西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型。
- 今後1週間程度、最大震度6強程度の地震に注意が必要。



2 被害状況

主な被害状況（3月17日午前6時30分 消防庁）

	宮城県	福島県	その他の県
人的被害	死者:1人(地震との関連を調査中) 軽傷:10人 程度不明:39人	死者:1人 重傷:3人 軽傷:33人	岩手県:軽傷1人 秋田県:軽傷1人 山形県:重傷1人、軽傷1人 茨城県:軽傷2人 栃木県:軽傷1人
住家被害			秋田県:一部損壊1棟
住民避難 (3/17 7時 現在)	<最大> 避難所数:90箇所	<最大> 避難所数:106箇所	<最大> 岩手県:避難所6箇所

※地震規模から考えれば、住家被害、道路等の被害がさらに広がる可能性もあり

⇒罹災証明の家屋調査、危険度判定の支援も考慮

○原子力発電所については、現時点で被害情報なし

○火災は計9件発生。すべて鎮圧・鎮火済み

○東北新幹線「やまびこ223号」が脱線。乗客・乗務員は避難済み。

3 政府、全国知事会等の対応

政府の対応

- ・3月16日午後11時39分 官邸対策室設置。

全国知事会の対応

- ・3月17日午前0時45分 緊急広域災害対策本部を設置。
(本部長:全国知事会長)
- ・宮城県には山形県が、福島県には新潟県が、それぞれリエゾンを派遣中。

関西広域連合の対応

- ・3月16日午後11時36分 対策準備室設置。

中国地方知事会の対応

- ・情報収集中

各県の災害対策本部の設置

- ・3月16日午後11時36分 岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県で災害対策本部設置。

4 本県の対応(1)

本県の対応

- 宮城県、福島県から、人的支援、物的支援の要請があった場合は、直ちに必要な支援を行う。
- 24時間の情報収集体制を継続。
- 全国知事会、北海道東北地方知事会、関西広域連合等と連携して支援準備を進める。
- 状況によってはプッシュ型の支援を実施する。
- 必要に応じてリエゾン(情報連絡員)を派遣できるよう準備を進める。
- 緊急消防援助隊の待機(消防局)
- 県消防防災ヘリの待機(支援要請あれば飛行可)

4 本県の対応(2)

支援タイムライン

- フェーズによって支援内容は切り替わるため、適切に対応する。

【支援メニュー例】

	緊急・短期	中長期
物的支援	<ul style="list-style-type: none">・ブルーシート、土のう袋の提供・食糧、飲料水の提供	—
人的支援	<ul style="list-style-type: none">・避難所運営支援、災害ボランティア派遣・被災建築物・被災宅地応急危険度判定、家屋被害認定調査・罹災証明発行業務・手話通訳者派遣・スクールカウンセラー派遣・災害廃棄物処理・義援金、ふるさと納税代行	土木・農林技師派遣 広域避難の受け入れ

4 本県の対応(3)

【資機材の支援】

○必要に応じて、資機材を被災地に提供可能。

資機材の種類	県が保有している数量
大型土のう	1,600袋
普通土のう	11,200袋
ブルーシート	2,600枚

- 今後、各省庁、各種団体を通じて要請されると思われる専門職種の職員派遣要請等については、危機管理局で集約して整理、把握するので、情報提供願いたい。
- 家屋被害認定調査等について、市町村職員の派遣要請がある可能性もあるので、各市町村においても準備をお願いしたい。